

マタイの召命

マタイによる福音書九章9〜13節

イエスは、そこから進んで行き、マタイという人が収税所に座っているのを見て、「私に従いなさい」と言われた。(9)

ここに短く、マタイは自らが主イエスの招きを受けたときの出来事を記します。収税所にすわっていた何人もの人の中から、主イエスはマタイを名指して選び、弟子となるように招かれたのです。人々から罪人と呼ばれて蔑まれ、人生の目的を失っていた私が、あのとときあの場所で、主に出会ったのだとマタイは大きな感動をもって振り返ります。マタイはこの八〜九章にかけて幾つもの奇跡を記しながらも、奇跡中の奇跡は罪人のこの私が救われたことであると語っているのです。マタイだけではありません。主イエスは罪の中に死んでいたような私たちを招くためにこの世に来てくださったのです。私たちが立派だから、優秀だから招いてくださったわけではありません。キリストによってしか救われることのない罪人だからこそ、名指して招いてくださったのです。これこそ福音ではありませんか。